



aigo SiLK シリーズ
aigo プロジェクター Cam
AHD-X8

取 扱 説 明 書

本書には、重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。よくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

もくじ

環境設定 65

テレビ接続 69

安全に関するご注意

お使いになる前に、必ずお読みください。

本製品を安全に正しくご使用していただくため、下記には重要な内容が記載されています。よくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

 **危険**	この表示の項目は、「死亡または重傷などを負う危険発生の切迫度が高い」内容です。
 **警告**	この表示の項目は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 **注意**	この表示の項目は、「人が傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠危険

充電池を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。
充電池の液漏れ・発熱・発火・破裂により、大けがや火災の原因になります。

付属品のケーブル類を首にかけてふざけたり遊んだりしないでください。
特に小さなお子様のまわりにケーブル類を放置しないでください。窒息事故の危険があります。

ご自身で修理、分解、改造をしないでください。
故障の原因になる上に、感電の危険があります。また、本製品には小さな精密部品が内蔵されており、特に小さなお子様などのまわりでは誤飲の危険があります。絶対にしないでください。

⚠警告

充電池に関する警告 以下は、充電池の液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となり、大けがや火災の原因になります。

充電池から漏れた液が皮膚や服についた時は、すぐに水で洗浄してください。
万一、液が目に入ってしまった場合には、すぐに大量の水で洗浄し、直ちに医師に相談してください。

付属の充電池を他の機器で充電したり、他の充電池を本製品で充電しないでください。
本書記載の定められた以外の方法で充電しないでください。
発熱・発火・破裂により大けがや火災の原因となります。

必ず付属の専用 AC 電源アダプターを使用してください。それ以外は使用しないでください。
発熱・発火・破裂により大けがや火災の原因となります。

雷が鳴りだしたら、AC 電源アダプターの電源プラグに触れないでください。
落雷による感電の原因になります。

充電池を小さいお子様の手の届く場所に放置しないでください。
誤飲による窒息や中毒の恐れがあります。

万一、製品が異常に熱くなる、異臭や煙りが出た場合や、機器の内部に異物や水などが入ってしまった場合は、直ちに使用を中止して、製品から充電池を取り外してください。
使用を中止しないと、火災や感電の原因となります。（やけどに十分に注意しながら充電池を取り外してください。）その後弊社までお問い合わせください。

充電池を取り外しする際には、必ず製品の電源をオフにしてください。
感電や、やけどの恐れがあります。

長時間カメラを使用した直後に充電池を取り出さないでください。
充電池が熱くなっているため、やけどの原因になる恐れがあります。

本製品をお手入れする場合には電源をオフにして、充電池を取り外してから行ってください。
感電や、充電池に異常が起こった場合、やけどの恐れがあります。

その他取り扱いに関する警告

歩行中、乗り物の運転中などに本製品を使用しないでください。
転倒や交通事故の原因となります。

付属の CD は「データ CD-ROM」です。オーディオプレーヤでは絶対に再生しないでください。
大音量によって耳に障害を被ったり、機器などを破損する恐れがあります。

長時間使用すると製品が熱くなることがありますのでご注意ください。
その状態の製品と身体の一部が長時間触れたままになっていると、低温やけどになる恐れがあります。

レンズを強い光源や太陽に向けないでください。
集光により、カメラ内部が破損・故障したり、ショートなどによる発熱で火災の原因となります。

本製品に水を掛けたり、濡らしたり、多湿・ほこりの多い場所での使用・保管は避けてください。
内部に水やほこりが入ると、感電や故障、火災の原因になります。

金属類・燃えやすいものなど異物を内部に入れないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠注 意

撮影を始める前に『試し撮り』をしてください。
正常に撮影されることを確認してください。

ストラップを使用して本製品を持ち運びする場合は、他のものに引っ掛けたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。
けがや事故の原因となります。

製品を落としたり、叩いたり、乱暴な扱いをしないでください。
故障や破損の原因になります。

液晶モニタに衝撃を与えないでください。
破損したり、ガラスが割れたり、内部の液が出てくることがあります。ご注意ください。

製品を直射日光の当たる場所、いちじるしく高温・低温になる場所での使用・保管は避けてください。
製品が劣化し、故障の原因になります。

製品をお手入れする場合には、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。アルコールやベンジンなど、化学薬品は使用しないでください。
製品が変質・変色してしまう恐れがあります。

製品の可動部、取り付け部を無理な方向に引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。
故障や破損の原因になります。

充電池の電極部や、製品の金属端子部はいつも清潔な状態で使用してください。
汚れがあると接触が悪くなる場合があります。乾いた布でよく拭いてからご使用ください。

製品を長期間ご使用にならない場合は、充電池を外して保管してください。
長期間充電池を入れたままにしていると、液漏れが起こる可能性があります。

液晶モニタにタッチする場合、先端が尖ったものなどで強くタッチしないでください。
液晶モニタが傷つく原因となります。

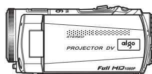
その他 ご注意

◎ 本製品およびパソコンの不具合により、データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎ 本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎ 本製品でのご使用、または使用不能から生じる附随的な損害（事業の利益損失、中断など含む）に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎ 本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

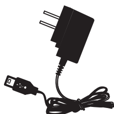
著作権についてのご注意

本製品で記録したものを私的な目的以外で著作権者、およびほかの権利者の承諾を得ずに複製・配布・配信することは、著作権法および国際条約の規定のより禁止されています。なお、実演、興業、展示物などで、個人として楽しむなどの目的があっても、記録を制限している場合があるのでご注意ください。

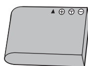
ご使用の前にご確認ください。



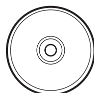
カメラ本体
（ストラップ本体接合）



AC電源
アダプター



専用リチウムイオン
充電池



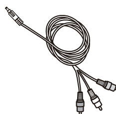
CD-ROM



HDMIケーブル



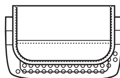
USBケーブル



AVケーブル



レンズキャップ



ポーチ



取扱説明書（本書）

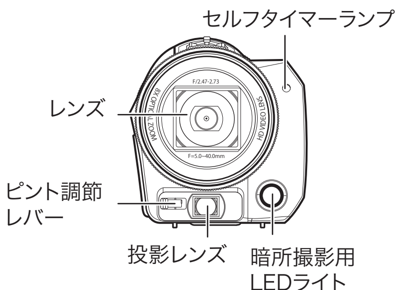


保証書

（注）イラストと実際の形状が若干異なる場合があります。

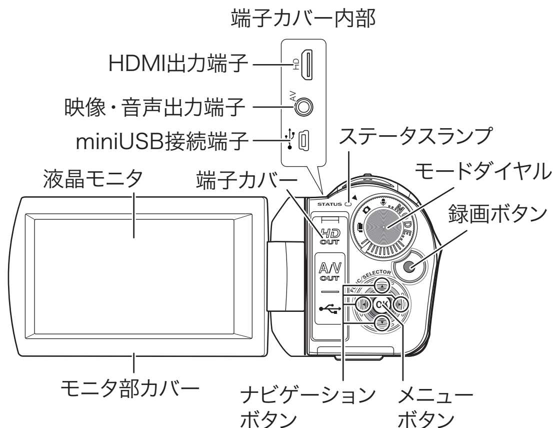
各部の名称

正面



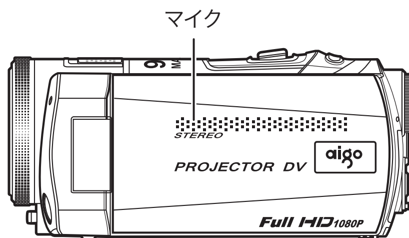
セルフタイマーランプ
レンズ
F/2.47-2.73
8X OPTICAL ZOOM
HD VIDEO LENS
F=5.0~40.0mm
ピント調節
レバー
投影レンズ
暗所撮影用
LEDライト

背面

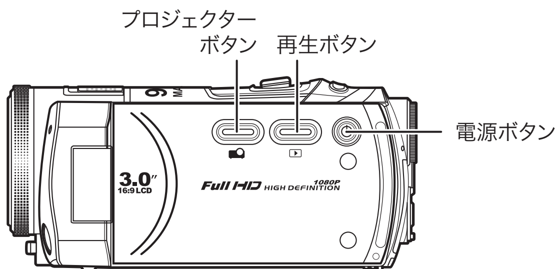


端子カバー内部
HDMI出力端子
映像・音声出力端子
miniUSB接続端子
ステータスランプ
モードダイヤル
液晶モニタ
端子カバー
録画ボタン
STATUS
HD OUT
A/V OUT
モニタ部カバー
ナビゲーション
ボタン
メニュー
ボタン

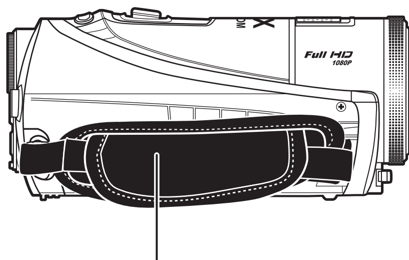
側面（左）


マイク
STEREO
PROJECTOR DV
aigo
Full HD 1080P

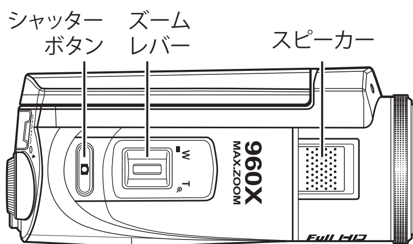
中側面


プロジェクターボタン
再生ボタン
電源ボタン
3.0″
16:9 LCD
Full HD HIGH DEFINITION 1080P

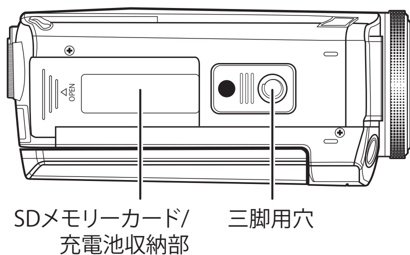
側面（右）


Full HD
1080P
ストラップ（本体接合）

上面


シャッターボタン
ズームレバー
スピーカー
W
T
960X
MAX.ZOOM
Full HD

底面



撮影の前に

電源について

本製品では、必ず付属の**専用リチウムイオン充電池**を使用してください。

◆ P.7 ～ 8 に記載の電池に関する使用上の注意をよくお読みください。

また、カメラを付属の AC 電源アダプターで家庭用コンセントと接続した状態で使用することもできます。（リチウムイオン充電池がカメラにセットされていなくても使用できます。 カメラと AC 電源アダプターの接続方法は P.16「充電池の充電」の接続方法を参照してください。）



○ 付属のリチウムイオン充電池は、本機専用です。絶対に他の充電池を使用しないでください。また、本充電池を他製品で使用したり、他機器で充電しないでください。

充電池をセットする



○ カメラ本体から充電池を着脱する場合は、必ず電源をオフにしてください。AC 電源アダプターでコンセントに接続中（P.16）の場合もアダプターをコンセントから外してからおこなってください。

○ 充電池をカメラ本体にセットする際、電池の＋－方向に注意してください。

❶ カメラの電源がオフになっていることを確認します（P.20 参照）。

❷ **SD メモリーカード / 充電池収納部のスロットカバー**を開きます（図 1、図 2）。

❸ 方向に注意して、充電池を本体にセットしてください（図 3）。本体の**ロック**の中に納まるまで奥に入れてください。

❹ ❷と逆の手順で、**SD メモリーカード / 充電池収納部のスロットカバー**をしっかりと閉めます。

図 1

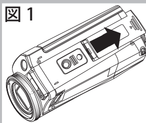


図 2

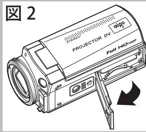
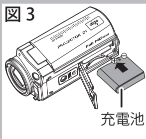


図 3



充電池の充電（AC 電源アダプター）

❶ カメラの電源がオフになっていることを確認します（P.20 参照）。

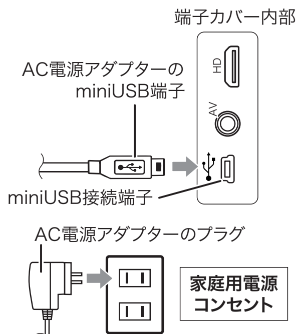
❷ 本体背面にある端子カバーを外します。

❸ AC 電源アダプターの miniUSB 端子を miniUSB 接続端子に差し込みます。

❹ AC 電源アダプターのプラグを家庭用コンセントに差し込みます。

○コンセントに接続し、カメラの電源がオフの場合、ステータスランプは赤色に点灯します。

充電が完了したら、ステータスランプは消灯します。AC 電源アダプターを家庭用コンセントから外します。





○ AC 電源アダプターの着脱は、カメラの**電源がオフの状態で**おこなってください。電源がオンの状態でおこなうと、カメラが動作しなくなる場合があります。カメラの電源が入らなくなった場合は一度充電池を取り出し、セットし直してみてください。

○ カメラの使用が終わったら、カメラの電源をオフにし、すみやかにコンセントから AC 電源アダプターの接続を外してください。接続したまま放置しないように注意してください。



○ カメラにリチウムイオン充電池をセットした状態でコンセントに接続しカメラの電源をオンにすると、電池の充電をしながらカメラを使用することができます。その場合充電には通常より時間がかかりますので、ご注意ください。

○ コンセントに接続しながらカメラを使用する場合は、AC 電源アダプター単独の状態で使用できます（リチウムイオン充電池がカメラにセットされていなくても使用できます。）。

充電池の充電（USB ケーブル）

充電池をカメラ本体にセットした状態で、付属の USB ケーブルでカメラ（電源オフ）をパソコン等（電源オン）に接続すると、充電池の充電が開始します。



○ USB 接続端子に USB ケーブルを接続する際には、端子の向きに注意してください。
間違った方向に無理に差し込むと、端子が破損してしまいます。

❶ カメラの電源がオフになっていることを確認します（P.20 参照）。

❷ 付属の USB ケーブルの miniUSB 端子を本体の **miniUSB 接続端子**に差し込みます。

❸ USB ケーブルの反対側の端子を電源の入ったパソコン等の USB 接続端子へ接続します。充電がはじまります。

充電が始まるとステータスランプが赤色に点灯します。
※充電中は本製品の**電源をオフのままにしてください**。



○充電が終わったらすみやかに USB ケーブルを外し、パソコン等との接続を解除してください。接続したまま放置しないように注意してください。
○充電は必ず本書で定められた方法でおこなってください。
○充電池の保存期間・保存環境によって、充電時間が異なる場合があります。
○ 長時間充電池を使用しなかった場合は、使用の前に充電をおこなってください。
○はじめてのご使用や、長時間使用しなかった場合には十分充電されないことがありますので、2 ～ 3 回充放電を繰り返してください。

電池の残量表示

電池の残量は、モニタ上のバッテリーアイコンで表示されます。

残量が多い	残量が少ない	残量がない	アダプター給電

SD メモリーカードを使う

撮影 / 録音したファイルは、カメラ本体に接続された SD メモリーカードに記録されます。記録容量の大きなカードを使用すれば、撮影時間 / 枚数、録音時間を増やすことができます。

◆ SDHC メモリーカード（別売・32GB まで）も使用できます。
◆ 本製品にはメモリ保存可能な内蔵メモリがありません。撮影時には必ず SD メモリーカード等をご用意してください。


○ カードの着脱をする場合は、必ずカメラの電源をオフにしてください。電源がオンの状態で行うと、データの破損、およびカメラの故障の原因になります。

使用時のご注意

ライトプロテクトスイッチについて

SD メモリーカードには「ライトプロテクトスイッチ」がついています。このスイッチがロックされている状態では、データの書き込み / 消去が禁止され、記録されているデータが保護されます。記録 / 消去する際には、ロックが解除されていることを確認してください。（詳しくは、お手持ちの SD メモリーカードの説明書をご覧ください。）

接続・転送中にカードを取り外さない

カメラとパソコンを接続したり、パソコンへデータを転送している最中に、カードをカメラから取り外さないでください。記録されているデータ、カード、カメラが破損する恐れがあります。

カードのフォーマット（初期化）はカメラで

カードのフォーマットは、必ずカメラのフォーマット機能を使用して行ってください。（→ P.66）

ファイル名 / ディレクトリ名を変更しない

カメラとパソコンが接続中、パソコンにおいてカードに記録されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更しないでください。カメラが認識できなくなり、機能に障害をもたらす恐れがあります。

その他のご注意

◆ カードは精密機器です。乱暴に扱わないでください。
◆ 静電気をおびていると、認識されなかったり、カメラが誤作動する場合があります。
◆ カードを使用中、誤作動や故障により記録データが失われる場合があります。その場合、故障や損害の原因、内容に関わらず、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◆ カードに異常がある場合は、フォーマット（初期化）することで正常になる場合があります。（フォーマットを行うと、記録されているデータはすべて失われます。予めご了承の上でフォーマットを行ってください。）
◆ カードが汚れてしまった場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。

SD メモリーカードをセットする

図 1

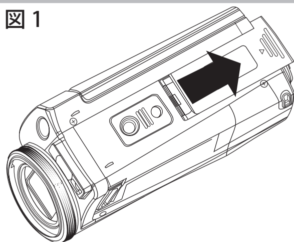
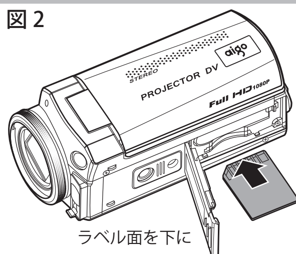


図 2



❶ カメラの電源がオフになっていることを確認します。
モニタを開くと自動的に電源がオンになります。**電源ボタン**を押して、必ず電源をオフにしてから、次の手順に進んでください。

❷ 本体底面の **SD メモリーカード / 充電池収納部のスロットカバー**を開きます。（図 1）

❸ カードの向き、方向を確認し、カチッと音がするまでしっかりと差し込みます。（図 2）

❹ **SD メモリーカード / 充電池収納部のスロットカバー**を閉めます。

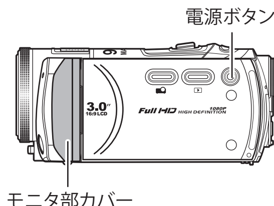
◆ SD メモリーカードを取り外すときは、指で軽く押すと SD メモリーカードが跳ね上がり、引き抜くことができます。

電源のオン / オフ

電源をオンにするには、**モニタ部カバー**を開きます。モニタ部カバーを開いたまま電源のオン / オフをおこなうときは、中側面にある〈**電源**〉ボタンを押します。電源がオンの状態でモニタ部カバーを閉じると、スタンバイの状態になります。

電源の消し忘れ、電池消耗防止の自動電源オフ機能（→ P.66）を設定することができます。何も操作しない状態が 3 分間（または 5 分間）続くと、自動的に電源がオフになる設定です。電源がオンの状態でモニタ部カバーを閉じた際も、自動的に電源がオフになります。

中側面



ランプ表示内容

各種ランプ表示内容は以下の状態をあらわします（ランプの位置は P.11 参照）。

ステータスランプ

赤色点灯	充電中
緑色点灯	電源オン状態
赤色点滅	動画撮影 / 音声録音中
緑色点滅	スタンバイ（電源がオンの状態でモニタ部カバーを閉じたとき）

セルフタイマーランプ

点滅	セルフタイマー作動中
点滅（速）	セルフタイマー残り 2 秒

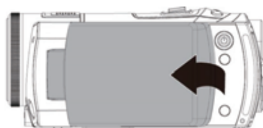
※セルフタイマーの設定は P.42 参照

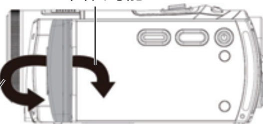
液晶モニタの回転

モニタ部を回転させた状態で撮影 / 再生することができます。



○ モニタ部は 360°回転することはできません。無理な方向に回転させたり、曲げたりしないでください。
○ 持ち運び、保管時には、カメラのモニタを本体側に収納した状態で付属のポーチに入れてください。







ハンドストラップの長さ調節

本体に接続されているハンドストラップは、長さ調節が可能です。
ハンドストラップに付属しているマジックテープを開き、長さを調整してから閉じます。ハンドストラップはレンズ側のリングからのみ取り外せます。カメラ背面側は本体に固定されていて取り外せません。

タッチパネルの操作方法

カメラ本体の各種ボタンを操作する他に、液晶モニタを直接タッチして（触れて）操作することができます。モニタにあるそれぞれのアイコンのできるだけ中央部分をタッチしてください。
すでにパネルに触れている状態で、他の箇所を新たにタッチしても動作しません。



○ 液晶モニタを強く押したり、尖った物で押さないで下さい。モニタの破損・故障の原因となります。

各モードで

アイコンやメニュー項目をタッチしてその機能や項目を選択できます。カメラ本体についているボタンと同じ機能を振り当てられているアイコンもあります。その場合はタッチパネル、本体のボタンどちらを押しても同じように動作します。アイコンについては P.26 ～ 27、37 ～ 38、47、49 ～ 51、55 ～ 56、61 ～ 62 の、各モードのアイコン説明をご覧ください。

動画モード・静止画モードで

○上記のほか、モニタ上の**〈動画サイズ〉**（動画モード）**、〈静止画サイズ〉**（静止画モード）アイコンをタッチすると、**撮影解像度のクイック設定**ができます。解像度についてはそれぞれのモードの解説ページをご覧ください（動画モード P.33、静止画モード P.44）。
○モニタの中央部をタッチすると**露出補正のクイック設定**ができます。露出補正については P.35 を、露出補正のクイック設定については P.30 をそれぞれご覧ください。

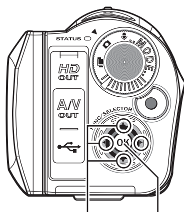
ナビゲーションボタンの操作方法

本製品では本体にある **〈ナビゲーション〉** ボタンと **〈メニュー〉** ボタンを使い、カメラの操作をすることができます。

〈ナビゲーション〉 ボタンの 4 方向のボタン▲▼◀▶で、それぞれの方向へメニュー項目の選択を移動できます。

〈メニュー〉 ボタンを押すと、選択したメニューや設定を確定できます。

本書では操作方法を下記に統一して表記します。



ナビゲーションボタン　メニューボタン

〈ナビゲーション▲▼◀▶〉 ボタンを押す	▲▼◀▶（上下左右）方向の指定
〈メニュー〉 ボタンを押す	設定の確定

メニュー画面での操作方法

1. **〈メニュー〉** ボタンを押し、メニュー画面を表示します。
2. **〈ナビゲーション▲▼〉** ボタンを押して、設定したい『メインメニュー項目』を選択します。
3. **〈ナビゲーション◀▶〉** ボタンを押して、選択したい『サブメニュー項目』を選択します。
4. **〈メニュー〉** ボタンを押して、設定を確定します。
5. **〈ナビゲーション◀▶〉** ボタンを押して、選択したいサブメニューの『選択項目』を選択します。
6. **〈メニュー〉** ボタンを押して、設定を確定します。

※メニュー画面から各モードに戻るには、画面内の ⏎ をタッチします。

なお、液晶モニタにある各アイコンを直接タッチして（触れて）同様の操作が可能です。本書では、タッチ式での操作方法をメインに記述しております。

モードの切替

本製品には大きく分けて 4 つのモードがあります。ご使用に合わせてモードを切替えてください。

① **動画モード** ：動画撮影

② **静止画モード** ：静止画撮影

③ **音声モード** ：音声録音

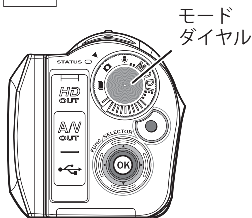
④ **再生モード**：ファイル再生

① ② ③ は**モードダイヤル**で設定します。

設定中のモードで液晶モニタ右下部にあるアイコン をタッチするか、または〈**再生**〉ボタンを押すと、④ **再生モード**になります。

再生モードから各モードに戻るには各再生モードで液晶モニタ右上部にあるアイコン をタッチするか、または〈**再生**〉ボタンを押します。

背面



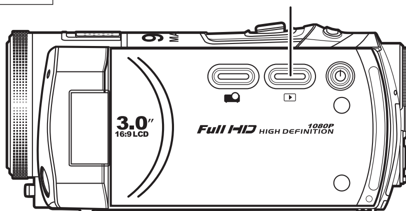
モニタ 動画モードの例



右下部のアイコン

中側面

再生ボタン



日付 / 時間を設定する

撮影を始める前に、日付 / 時刻を設定します。

❶ カメラの電源をオンにします。**〈Menu〉**アイコンをタッチし、メニューを表示します（図 1）。
※モードは問いません。

❷ アイコンをタッチして設定のサブメニューを表示します（図 2）。

❸ サブメニュー項目「日付 / 時刻」をタッチします。

❹ 年 / 月 / 日 / 時 / 分　の中から設定したい項目を選んでタッチします（図 3）。

❺ 設定したい項目が選択された状態で▲、▼をタッチするとそれぞれ数値が増減します。

❻ 日付と時刻の指定を終え設定を確定するには、OK をタッチします。日付と時刻を確定し、設定のサブメニューに戻ります。もう一度 をタッチすると元のモードに戻ります。

図 1



Menu アイコン

図 2

設定メニューアイコン　　日付 / 時刻



設定サブメニュー

図 3

選択中の項目

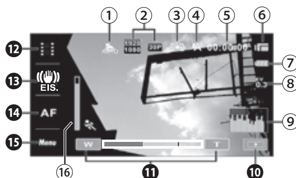




○ 長期間カメラに電力が供給されない状態で放置した後は、その都度本設定を行ってください。

動画モードのアイコン

動画モード画面では液晶モニタに下記のアイコンが表示されます。
○（白丸数字）は設定された状態をあらわす項目です。
●（黒丸数字）はタッチで操作できる項目です。



① シーンモード	P.34「シーンモード」を参照してください。
② 動画サイズ（単位・ピクセル）	**TV 方式（P.65）が NTSC のとき：** 1920 x 1080 30p　1280 x 720 60p　1280 x 720 30p 848 x 480 60p　432 x 240 120p **TV 方式（P.65）が PAL のとき：** 1920 x 1080 25p　1280 x 720 50p　1280 x 720 25p 848 x 480 50p　432 x 240 100p
③ 測光方式	中央測光　平均測光 スポット測光
④ ホワイトバランス	自動　白熱灯　太陽光 曇り　蛍光灯　カスタム

⑤ 撮影可能時間 / 撮影時間	撮影可能な時間の目安表示（撮影時以外）/ 撮影経過時間（撮影時）
⑥ モード表示	動画モード
⑦ 電池残量	P.17「電池の残量表示」をご覧ください。
⑧ 露出補正	P.35「露出補正」を参照してください。
⑨ ヒストグラム	P.67「モニタ表示」を参照してください。
❿ 再生	再生モード画面を表示します。
⓫ ズームアイコン / インジケーター	T ズームイン　W ズームアウト インジケーター：ズーム動作時のみ表示
⓬ 動画サイズ	②の設定をします。P.31「タッチアイコン」の「動画サイズ」を参照してください。
⓭ スタビライザー	P.31「タッチアイコン」の「スタビライザー」を参照してください。
⓮ AF 設定	P.31「タッチアイコン」の「AF 設定」を参照してください。
⓯ Menu	メニュー画面を表示します。
⑯ 動体検出 インジケーター / アイコン	動体検出「オン」時のみ表示

動画を撮影する

❶ カメラの電源をオンにし、**モードダイヤル**を回して**動画モード** に設定します。

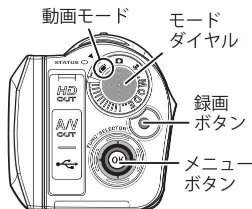
モニタを開くと電源が自動的にオンになります。（→ P.20）

❷ **モニタ**で被写体を確認し、〈**録画**〉ボタンを押して動画撮影を開始します。撮影中はモニタに撮影経過時間が表示されます。

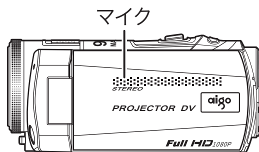
❸ 撮影を一旦停止するには、〈**メニュー**〉ボタンを押します。撮影を再開するには、再度〈**メニュー**〉ボタンを押します。

❹ 撮影を停止するには再度《**録画**》ボタンを押します。

背面



側面



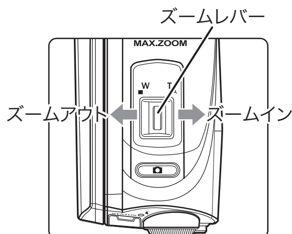
ご注意

◆ 撮影中にマイクを指で押さえないようにご注意ください。
◆ 撮影の前に、日付 / 時刻の設定を行ってください。（→ P.25）
◆ 撮影可能時間は、メモリの空き容量に依存します。
◆ メモリの空き容量が無くなると撮影は終了します。
◆ 録画した動画ファイルは MOV 形式です。

ズーム撮影

最大 960 倍までのズーム撮影ができます。**ズームレバー**、**タッチアイコン**のどちらでも調整ができます。

上面



○**ズームレバー**

カメラ上面にある**ズームレバー**でズームを調整します。右の方向に押すとズームイン（望遠）、左の方向に押すとズームアウト（広角）します。

○**タッチアイコン**

画面中のアイコンをタッチしてズームを調整します。 T アイコンを押すとズームイン（望遠）、 W アイコンを押すとズームアウト（広角）します。

光学ズームとデジタルズーム

光学ズームを最大に設定した後に一度手を離し、再度ズームインをすると、デジタルズームが使用できます。

光学ズーム　　　最大 8 倍
デジタルズーム　最大 120 倍

※高倍率のデジタルズームは画像劣化の原因となります。

モニタ



動画のクイック設定

ナビゲーションボタン

動画モードで〈**ナビゲーション▲◀▶**〉ボタンを押すと、クイック設定ができます。

背面

▲

◀ ▶

▲暗所撮影用 LED ライト

暗所撮影用 LED ライトが点灯します。
消灯する場合は〈**ナビゲーション▲**〉ボタンを再度押してください。
◆点灯を続けると充電池の消耗が早まりますのでご注意ください。

◀▶露出補正

動画の明るさの状態の補正の設定です。
詳しくは P.35 をご覧ください。

タッチアイコン

モニタのタッチでクイック設定がおこなえる項目は 4 つあります。



動画サイズ

動画サイズの設定です。アイコンをタッチすると 5 種のサイズが表示されます。変更したいサイズをタッチしてください。詳しくは P.33 をご覧ください。

スタビライザー（手ブレ軽減）

撮影中に起こる手ブレ（振動）を軽減することができます。アイコンをタッチする度にオン・オフが切り替わります。

AF 設定

フォーカス（ピント）の設定をすることができます。

マニュアルフォーカス：手動でフォーカス（ピント）を調整します。モニタをタッチすると白いフォーカスフレームが表示され、ここにフォーカスが設定されます。

標準：自動でフォーカス（ピント）を調整します。

固定：フォーカス（ピント）をロックして撮影します。ご希望のポイントにフォーカスが設定されている状態で、**AF 設定**の**固定**をタッチすると、フォーカスが固定されます。

露出補正

モニタの中央部をタッチすると露出補正の設定ができる表示が現れます。モニタ上の＋を押すとプラスに、－を押すとマイナスに、数値が増減します。しばらく触れずにいると自動的に非表示になります。露出補正については P.35 をご覧ください。

動画のメニュー設定

メニュー設定の基本項目

❶〈**Menu**〉アイコンをタッチするか、または本製品背面ナビゲーションボタン中央の〈**メニュー**〉ボタンを押すと動画モードのメニュー画面が表示されます。

❷ タッチでメインメニュー項目を選択します（ 図1 ）。選択したメインメニューのサブメニュー項目がその右に表示されます。

❸ 変更したいサブメニュー項目をタッチします（サブメニュー項目が複数ページにわたる場合は、下側の◀ ▶アイコンでページ間を移動できます）。そのサブメニューの選択項目が表示されます（項目により内容は異なります）。

図 1

メインメニュー項目　　戻る



サブメニューページ数
(現在のページ番号/総ページ数)

サブメニュー項目

❹ 選択したい項目をタッチします。選択が確定され、一つ上のメニューに戻ります。

❺ メニュー設定を終了するときはモニタの〈**戻る**〉アイコン をタッチします。

○設定をせずにキャンセルするときは、〈**戻る**〉アイコン をタッチします。

画質

画質を設定します。3 つの画質から選びます。

スーパーファイン：最高画質
ファイン　　　　：良画質
標準　　　　　　：普通画質

動画サイズ

動画の画像サイズとフレームレート（fps）を設定します。5 つのサイズから選びます。サイズが大きいほど記録するときのメモリ使用量が多くなります。TV 方式（P.65）の設定によって、フレームレート（fps）の数値が変わります。

NTSC のとき：

1920 x 1080 30p　1280 x 720 60p　1280 x 720 30p

848 x 480 60p　432 x 240 120p

PAL のとき：

1920 x 1080 25p　1280 x 720 50p　1280 x 720 25p

848 x 480 50p　432 x 240 100p

プレ録画

録画モード画面の上に IP が表示されます。〈**録画**〉ボタンを押すと、通常の録画がはじまります。プレ録画機能を使用することにより通常の録画の約 3 秒前から録画されます。プレ録画機能により、重要な録画のチャンスを逃さないようにすることが可能です。

オン / オフ

◆ プレ録画と定点撮影を同時に使用することはできません。
◆ 事前に 3 秒以上、被写体にカメラを向けている必要があります。

定点撮影

特定の時間間隔で静止画像を録画し、1 つのムービーファイルとして設定、再生することができます。

 **オフ**：定点撮影を無効にします。



1 分：1 分間に 1 フレームを録画します。



5 分：5 分間に 1 フレームを録画します。

 **30 分**：30 分間に 1 フレームを録画します。

◆ プレ録画と定点撮影を同時に使用することはできません。

顔認識

被写体の『顔』を検出する機能です。人物の顔を検出すると、モニタに四角枠が表示されます。

オン / オフ

この設定は静止画モードにも反映されます。

シーンモード

シーンモードを設定します。



自動  **夜景**  **スポーツ**  **風景**

 **ポートレイト**  **夕景**  **雪景色**  **花**  **花火**

 **水族館**

この設定は静止画モードにも反映されます。

ホワイトバランス

光源による色の違いを自然な色合いに近付ける調整です。



自動  **白熱灯**  **太陽光**  **曇り**  **蛍光灯**

 **カスタム**

この設定は静止画モードにも反映されます。

色効果

画像の色合い（カラー）を設定することができます。

 **標準**  **アート**  **セピア**  **ネガ**  **白黒**

 **ビビット**

この設定は静止画モードにも反映されます。

測光方式

レンズに適切な光が入るように被写体の明るさを計測する、測光方式を設定します。

 **中央測光**　：中央を重点的に計測します。

 **平均測光**　：撮影画面全体の平均した明るさを計測します。

 **スポット測光**：中央に配置された被写体のごく狭い範囲を計測します。

この設定は静止画モードにも反映されます。

露出補正

露出補正（動画の明るさの状態を補正）の設定です。間接照明などの環境、または背景が暗い場合に写りをよくするために設定します。
通常は、**0 EV** に設定しますが、**-2.0 EV** から **+2.0 EV** の間で調整できます。
〈**ナビゲーション◀ ▶**〉ボタンを押すか、モニタ上の「**−**」または「**+**」をタッチして設定してください。
この設定は静止画モードにも反映されます。



○ 白っぽい被写体には高値、暗い被写体やよく晴れた屋外では低値を設定すると効果的です。極端に明るい、または暗い撮影環境では、本機能を設定しても良い結果が出ない場合があります。

逆光補正

逆光の際にオンに設定します。
この設定は静止画モードにも反映されます。

コントラスト

動画のコントラストを設定します。

 **標準**　 **高**　 **低**

この設定は静止画モードにも反映されます。

シャープネス

動画のシャープネス（鮮鋭度）を設定します。

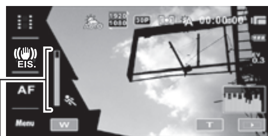
 **標準**  **ハード**  **ソフト**

この設定は静止画モードにも反映されます。

動体検出

この機能をオンにすると、モニタに映る範囲内で動き（動体）を検知し、**動体検出インジケーター**が一番上まで上がったときに、〈**録画**〉ボタンを押さなくても自動的に動画撮影を開始します。
動きを検知している間は撮影を継続します。動きの検出ができなくなり、**動体検出インジケーター**が一番下まで下がると、自動的に撮影を停止します。
本設定をおこなうと自動撮影スタンバイ状態になり、検知を開始します。

モニタ



動体検出
インジケーター

動体検出をやめるときは自動撮影をしていないときに、あるいは〈**録画**〉ボタンを押して録画を終了し、メニュー画面で動体検出の設定をオフにしてください。
※設定の前に三脚 (別売) 等にカメラを固定してください。設定後にカメラが動くと、被写体の動きとして感知し撮影が開始されてしまいます。
※動体検出機能のオン時には、自動電源オフ機能（P.66）は停止します。

※メニュー設定の「顔認識」、「シーンモード」、「ホワイトバランス」、「色効果」、「測光方式」、「露出補正」、「逆行補正」、「コントラスト」、「シャープネス」は、静止画モードにも反映されます。

静止画モードのアイコン

静止画モード画面では液晶モニタに下記のアイコンが表示されます。
○（白丸数字）は設定された状態をあらわす項目です。
●（黒丸数字）はタッチで操作できる項目です。



① **シーンモード**	P.34「シーンモード」を参照してください。
② **静止画サイズ**	16M（4608 X 3456 ピクセル） 8M（3200X 2400 ピクセル） 5M（2592X 1944 ピクセル） 3M（2048 X 1536 ピクセル）
③ **撮影モード**	P.44「撮影モード」を参照してください。
④ **測光方式**	中央測光　平均測光 スポット測光
⑤ **ホワイトバランス**	自動　白熱灯　太陽光 曇り　蛍光灯　カスタム
⑥ **セルフタイマー**	オフ /2 秒 /10 秒

⑦ 撮影可能枚数	撮影可能な枚数の目安表示
⑧ モード表示	静止画モード
⑨ 電池残量	P.17「電池の残量表示」をご覧ください。
⑩ 露出補正	P.35「露出補正」を参照してください。
⑪ ヒストグラム	P.67「モニタ表示」を参照してください。
⓬ 再生	再生モード画面を表示します。
⓭ ズームアイコン / インジケーター	T ズームイン　W ズームアウト インジケーター：ズーム動作時のみ表示
⓮ 静止画サイズ	②の設定をします。P.44「静止画サイズ」を参照してください。
⓯ LED フラッシュ設定	オフ / 自動 / オン
⓰ AF 設定	P.43「タッチアイコン」の「AF 設定」を参照してください。
⓱ Menu	メニュー画面を表示します。

静止画を撮影する

❶ カメラの電源をオンにし、**モードダイヤル**を回して**静止画モード** 📷 に設定します。

モニタを開くと電源が自動的にオンになります。(→ P.20)

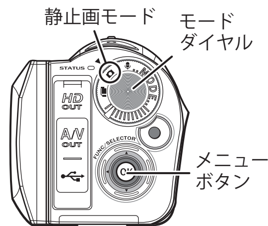
❷ **モニタ**で被写体を確認します。

❸ 〈**シャッター**〉ボタンをを半押ししてピントを合わせます。

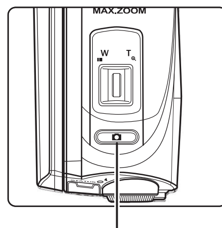
モニタ上のフォーカスフレームが緑色に変化すると、オートフォーカスのピントが合った状態です。赤色の場合はピントが合っていません。もう一度カメラを被写体に向け直してピントを合わせてください。

❹ 〈**シャッター**〉ボタンを押し切り撮影します。

背面



上面



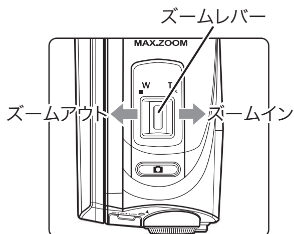
ご注意

- ◆ 撮影時、カメラがブレないようにしっかりと固定してください。
- ◆ しばらく待って画面に表示が戻ったら次の撮影ができます。
- ◆ 撮影の前に、日付 / 時刻の設定を行ってください。(→ P.25)
- ◆ 撮影可能枚数は、メモリの空き容量に依存します。
- ◆ メモリの空き容量が無くなると撮影は終了します。
- ◆ 撮影した静止画ファイルは JPEG 形式です。

ズーム撮影

最大 480 倍までの撮影ができます。**ズームレバー**、**タッチアイコン**のどちらでも調整ができます。

上面



○ズームレバー

カメラ上面にある**ズームレバー**でズームを調整します。右の方向に押すとズームイン（望遠)、左の方向に押すとズームアウト（広角）します。

○タッチアイコン

画面中のアイコンをタッチしてズームを調整します。 T アイコンを押すとズームイン（望遠)、 W アイコンを押すとズームアウト（広角）します。

光学ズームとデジタルズーム

光学ズームを最大に設定した後に一度手を離し、再度ズームインをすると、デジタルズームが使用できます。

光学ズーム　　最大 8 倍
デジタルズーム　最大 60 倍

※高倍率のデジタルズームは画像劣化の原因となります。

モニタ



フラッシュ撮影

〈ナビゲーション▲〉ボタンを押してフラッシュの設定ができます。

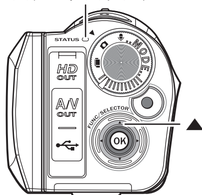
〈ナビゲーション▲〉ボタンを押すごとにフラッシュの機能が切り替わり、モニタにアイコンが表示されます。

ランプ表示内容については P.20 をご覧ください。

お好みのフラッシュ設定後に撮影します。

背面

ステータスランプ



表示アイコン	フラッシュ機能	はたらき
	オフ	どのような環境でもフラッシュを使用しません。
	自動	環境に合わせて自動的にフラッシュの使用 / 不使用を判断します。
	オン	どのような環境でもフラッシュを使用します。

静止画のクイック設定

ナビゲーションボタン

静止画モードで〈**ナビゲーション◀ ▶▲▼**〉ボタンを押すと、クイック設定ができます。

背面

STATUS
HD OUT
A/V OUT
MODE
FUNC/SELECTOR
OK

▲ フラッシュ撮影設定
◀ ▶ 露出補正
▼ セルフタイマー

▲フラッシュ撮影設定

フラッシュの設定ができます。
詳しくは P.41 をご覧ください。

◀ ▶露出補正

静止画の明るさの状態の補正の設定です。
詳しくは P.35 をご覧ください。

▼セルフタイマー

セルフタイマー機能を使って静止画撮影が可能です。

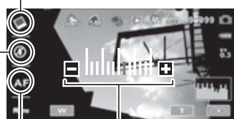
表示アイコン	タイマー機能	はたらき
OFF	オフ	セルフタイマー機能を使用しません。
2S	2 秒タイマー	2 秒後に撮影するタイマーです。
10S	10 秒タイマー	10 秒後に撮影するタイマーです。

タイマー作動中はセルフタイマーランプが点滅します。残り 2 秒程になると、点滅速度が早くなり、撮影が近づいたことを知らせます。P.20「ランプ表示内容」をご覧ください。

タッチアイコン

モニタのタッチでクイック設定がおこなえる項目は 4 つあります。

モニタ



静止画サイズ

静止画サイズの設定です。アイコンをタッチすると 4 種のサイズが表示されます。変更したいサイズをタッチしてください。
詳しくは P.44 をご覧ください。

LED フラッシュ設定

フラッシュの設定です。

オフ：どのような環境でもフラッシュを使用しません。

自動：環境に合わせて自動的にフラッシュの使用 / 不使用を判断します。

オン：どのような環境でもフラッシュを使用します。

AF 設定

フォーカスの設定をすることができます。

マニュアルフォーカス：手動でフォーカス（ピント）を調整します。モニタをタッチすると白いフォーカスフレームが表示され、ここにフォーカスが設定されます。

標準　：自動でフォーカス（ピント）を調整します。

マクロ：至近距離（約 10cm）の撮影ができます。設定中はモニタにマクロ撮影アイコン 🌷 が表示されます。

固定：フォーカス（ピント）をロックして撮影します。ご希望のポイントにフォーカスが設定されている状態で、**AF 設定**の**固定**をタッチすると、フォーカスが固定されます。

露出補正

モニタの中央部をタッチすると露出補正の設定ができる表示が現れます。モニタ上の＋を押すとプラスに、－を押すとマイナスに、数値が増減します。しばらく触れずにいると、自動的に非表示になります。露出補正については P.35 をご覧ください。

静止画のメニュー設定

静止画モードで〈**Menu**〉アイコンをタッチするかまたは〈**メニュー**〉ボタンを押すと、静止画撮影の設定ができる**メニュー設定**の画面になります。
操作方法は動画モードのメニュー設定と同様です。P.32 をご覧ください。

画質

画質を設定します。3 つの画質から選びます。

スーパーファイン：最高画質
ファイン：良画質
標準：普通画質

静止画サイズ

静止画の画像サイズを設定します。4 つのサイズから選びます。「M」はメガピクセルの意味で、画像サイズの単位です。

16M：4608 × 3456 ピクセル
8M：3200 × 2400 ピクセル
5M：2592 × 1944 ピクセル
3M：2048 × 1536 ピクセル

撮影モード

連写撮影の設定をおこないます。

アイコン	機能	はたらき
	標準	通常の撮影（1 枚）。
Cont.	**連写**	〈**シャッター**〉ボタンを押し続けている間、連続的に写真を撮ります。
AEB	**AEB**	連続的に 3 枚 (比較的明るい写真、標準、比較的暗い写真を各一枚) の写真を撮ります。
FAST	**10 枚連写**	連続的に 10 枚の写真を撮ります。
S.FAST	**30 枚連写**	連続的に 30 枚の写真を撮ります。

プレビュ

静止画撮影直後のプレビュー秒数を設定します。

オフ / 1 秒 / 3 秒 / 5 秒

顔認識

被写体の『顔』を検出する機能です。人物の顔を検出すると、モニタに四角枠が表示されます。〈**シャッター**〉をゆっくりと押し切り、撮影をします。

オン / オフ

シーンモード

動画のシーンモードと同じです。P.34 をご覧ください。

ホワイトバランス

動画のホワイトバランスと同じです。P.34 をご覧ください。

色効果

動画の効果と同じです。P.34 をご覧ください。

測光方式

動画の測光方式と同じです。P.35 をご覧ください。

ISO

静止画の ISO 感度を設定します。

自動 / 100 / 200 / 400 / 800 / 1600 / 3200 / 6400

◆感度を上げると暗い環境での撮影も可能になりますが、ノイズが増え画質が劣化します。

露出補正

動画の露出補正と同じです。P.35 をご覧ください。

逆光補正

動画の逆光補正と同じです。P.35 をご覧ください。

コントラスト

動画のコントラストと同じです。P.35 をご覧ください。

シャープネス

動画のシャープネスと同じです。P.36 をご覧ください。

※メニュー設定の「顔認識」、「シーンモード」、「ホワイトバランス」、「色効果」、「測光方式」、「露出補正」、「逆行補正」、「コントラスト」、「シャープネス」は、動画モードにも反映されます。

液晶モニタの表示

音声モード画面では液晶モニタに下記のアイコンが表示されます。
○（白丸数字）は設定された状態をあらわす項目です。
●（黒丸数字）はタッチで操作できる項目です。



① **録音可能時間 / 録音時間**	録音可能な時間の目安表示（録音時以外）/ 録音経過時間（録音時）
② **モード表示**	音声モード
③ **電池残量**	P.17「電池の残量表示」を参照してください。
❹ **再生**	再生モードへ
❺ **Menu**	メニュー表示

音声を録音する

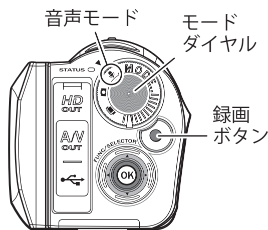
❶ カメラの電源をオンにし、**モードダイヤル**を回して**音声モード** 🎙 に設定します。

モニタを開くと電源が自動的にオンになります。（→ P.20）

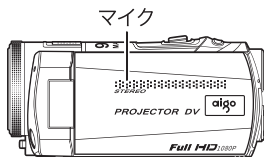
❷ 音源に**マイク**を近づけ、〈**録画**〉ボタンを押して録音を開始します。録音中は録音時間が**モニタ**に表示されます。

❸ 録音を停止するには再度〈**録画**〉ボタンを押します。

背面



側面

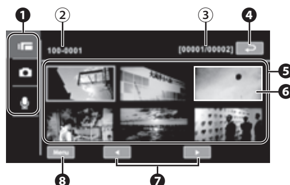


ご注意

◆ 録音中に**マイク**を指で押さえないようにご注意ください。
◆ 録音の前に、日付 / 時刻の設定を行ってください。（→ P.25）
◆ 録音可能時間は、メモリの空き容量に依存します。
◆ メモリの空き容量が無くなると録音は終了します。
◆ 録音した音声ファイルは WAV 形式です。

再生モードのアイコン

再生モード画面ではモニタにファイルがサムネイル表示されます。
○（白丸数字）は設定された状態をあらわす項目です。
●（黒丸数字）はタッチで操作できる項目です。



❶ モード選択	動画再生モード　静止画再生モード 音声再生モード
② フォルダ名 / ファイル名	選択されているファイルのフォルダ名 / ファイル名を表示
③ サムネイルのページ数	現在のページ番号 / 総ページ数
❹ 戻る	再生モードの終了 ※〈**再生**〉ボタンを押しても終了できます
❺ サムネイル表示	表示中の任意のファイルを選択
❻ 選択ファイル	タッチで選択ファイルの再生
❼ ページ移動	表示サムネイルページの移動
❽ Menu	メニュー表示

動画再生

動画再生モードのアイコン

動画再生モード画面ではモニタで動画ファイルの再生ができます。
○（白丸数字）は設定された状態をあらわす項目です。
●（黒丸数字）はタッチで操作できる項目です。



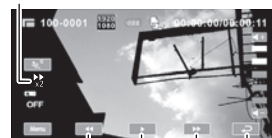
① モード表示	動画モード
② フォルダ名 / ファイル名	表示されているファイルのフォルダ名 / ファイル名を表示
③ 動画サイズ（単位・ピクセル）	1920 x 1080　1280 x 720　848 x 480　432 x 240
④ 電池残量	P.17「電池の残量表示」をご覧ください
⑤ ファイル保護	P.63「ファイル保護」をご覧ください
⑥ ファイル再生経過時間 / 再生時間	表示されているファイルを再生した時間 / ファイルの長さを表示
❼ 音量	モニタの「＋」（音量大）か「－」（音量小）をタッチするか、再生中にズームレバーを「T」側（音量大）か「W」側（音量小）に押して音量を調節します
❽ 戻る	サムネイル表示に戻ります
❾ 早送り	P.52「早送り / 早戻し再生」をご覧ください

⑩ **再生 / 一時停止**	P.51「動画の再生」をご覧ください
⑪ **早戻し**	P.52「早送り / 早戻し再生」をご覧ください
⑫ **Menu**	メニュー表示
⑬ **スローモーション再生**	P.52「スローモーション再生」をご覧ください
⑭ **プロジェクター**	P.54「プロジェクター再生」をご覧ください

動画の再生

1. カメラの電源をオンにし、モニタの ▶ アイコンをタッチするか、〈**再生**〉ボタンを押します。
2. 再生モードで動画ファイルのサムネイルを表示します。動画モードが選択されていない場合はモニタ左の アイコンをタッチします。
3. 再生したい動画ファイルを選んでタッチします。
4. ファイルごとの動画再生画面に入ります（図 1)。 ▶ アイコンをタッチすると再生を開始します。

図 1



5. 再生中は ▶ アイコンが〈**一時停止**〉 II アイコンに変わります。再生を途中で停止するときは II アイコンをタッチします。再度 ▶ アイコンをタッチすると停止していたところから再生を再開します。
6. 再生を終了し動画再生ファイルサムネイル表示に戻るには、 アイコンをタッチします。

早送り / 早戻し再生

動画ファイルの再生中に ▶▶ アイコンをタッチすると早送り、◀◀ アイコンをタッチすると早戻し再生になります。それぞれアイコンをタッチするごとに速度が変わり、2 倍（x2）から 64 倍（x64）の速度で早送りまたは早戻し再生します。

［x2］→［x4］→［x8］→［x16］→［x32］→［x64］→［x1］



※ 1 倍（通常再生）の時は再生速度の表示はありません。

※一時停止中に ▶▶ / ◀◀ アイコンをタッチすると、早送り / 巻戻しはせずに、次の動画ファイルまたは前の動画ファイルに移動します。

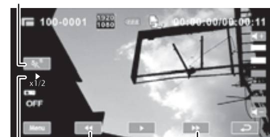
※早送り / 早戻し再生中は音声は再生されません。

スローモーション再生

動画ファイルの表示 / 再生中に アイコンをタッチするとスローモーション再生になります。スローモーション再生をやめるには再び アイコンをタッチします。

モニタ

スローモーション再生



速度変更（逆再生）　速度変更（順再生）

再生速度表示

順再生速度変更

スローモーション再生時に ▶▶ アイコンをタッチすると、再生速度を変更できます。アイコンをタッチするごとに 1/2 倍（x1/2）から 1/64 倍（x1/64）までの範囲で変えることができます。

逆再生速度変更

スローモーション再生時に ◀◀ アイコンをタッチすると、スローモーションで逆再生を始めます。アイコンをタッチするごとに逆再生の速度を 1/2 倍（x1/2）から 1/64 倍（x1/64）まで変更できます。

順 / 逆再生速度変更時の表示

［x1/2］［x1/4］［x1/8］［x1/16］［x1/32］［x1/64］［x1］



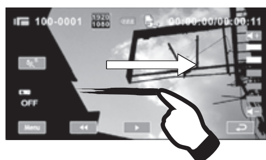
※ 1 倍（通常再生）の時は再生速度の表示はありません。

※スローモーション再生中は音声は再生されません。

タッチパネルのスライディング

動画再生表示中にモニタの中央部で右または左に指先を滑らせると、 または アイコンをタッチした場合と同じ動作をします。右に向かって滑らせると アイコンに、左に向かって滑らせると アイコンになります。

モニタ



動画ファイルの静止画キャプチャ

動画再生中に〈**シャッター**〉ボタンを押して静止画をキャプチャし、データを保存することができます。

※保存される静止画のサイズは、キャプチャした動画のサイズと同じになります。

モニタ



プロジェクター再生

プロジェクター機能を使って、撮影した動画を投影させて見ることができます。



○ プロジェクターをスクリーンに対して垂直になるように設置してください。
○ 画面のサイズがご希望の大きさになるように投影距離を調整してください。

1. 動画ファイルの表示中に、〈**プロジェクター**〉ボタンを数回押すか、モニタのプロジェクターアイコンを数回タッチして、投影画像の輝度を調整してください。回数によってアイコンが以下のように切り替わります。

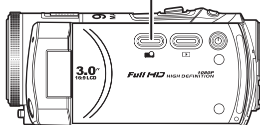


（オフ）（低輝度）（高輝度）

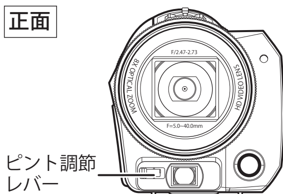


2. 〈**ピント調節**〉レバーを左右に操作して、投影画像のピントを調節します。

中側面



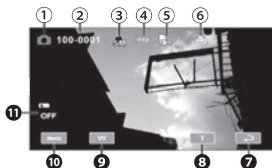
正面



静止画再生

静止画再生モードのアイコン

静止画再生モード画面ではモニタで静止画ファイルの再生ができます。
○（白丸数字）は設定された状態をあらわす項目です。
●（黒丸数字）はタッチで操作できる項目です。



① モード表示	静止画モード
② フォルダ名 / ファイル名	表示されているファイルのフォルダ名 / ファイル名を表示
③ 静止画サイズ （単位・ピクセル）	16M（4608 X 3456）　8M（3200 X 2400） 5M（2592 X 1944）　3M（2048 X 1536）
④ 電池残量	P.17「電池の残量表示」をご覧ください
⑤ ファイル保護	P.63「ファイル保護」をご覧ください
⑥ DPOF	デジタルカメラ用の記録フォーマット P.58「DPOF 設定」をご覧ください
❼ 戻る	サムネイル表示に戻ります
❽ ズーム T	ズームイン機能
❾ ズーム W	ズームアウト機能
❿ Menu	メニュー表示

⓫ **プロジェクター**	P.54「プロジェクター再生」をご覧ください

静止画の再生

❶ カメラの電源をオンにし、モニタの [▶] アイコンをタッチするか、〈**再生**〉ボタンを押します。

❷ 再生モードで静止画ファイルのサムネイルを表示します。静止画モードが選択されていない場合はモニタ左の [カメラ] アイコンをタッチします。

❸ 再生したい静止画ファイルを選んでタッチします。

❹ ファイルごとの静止画再生画面に入ります。

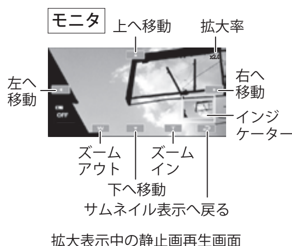
❺ 次のファイルを再生するには、〈**ナビゲーション▶**〉ボタンを押します。
前のファイルを再生するには、〈**ナビゲーション◀**〉ボタンを押します。

❻ 再生を終了し静止画再生ファイルサムネイル表示に戻るには、[↩] アイコンをタッチします。

静止画の拡大表示

静止画ファイルの表示中に〈**ズームレバー**〉または [T] アイコンのタッチで静止画の拡大表示ができます。

○拡大表示中は〈**ナビゲーション▲▼◀▶**〉ボタン、[▲] / [▼] / [◀] / [▶] アイコンのタッチ、またはモニタの中央部で指をスライディングすると表示領域を上下左右に移動できます。表示領域はモニタのインジケーターに表示されます。



拡大表示中の静止画再生画面

○〈**ズームレバー**〉または [W] アイコンのタッチで拡大表示の拡大率を下げることができます。

○拡大表示を解除するには〈**ズームレバー**〉を左に押して縮小（ズームアウト）するか、〈**メニュー**〉ボタンを押すか、[↩] アイコンをタッチします。

◆拡大表示は静止画ファイルのみです。動画ファイルは拡大表示できません。

静止画のスライドショー

静止画ファイルを順番に自動リピート再生します。

❶ カメラの電源をオンにし、モニタの アイコンをタッチするか、〈**再生**〉ボタンを押します。

❷ 再生モードで静止画ファイルのサムネイルを表示します。静止画モードが選択されていない場合はモニタ左の アイコンをタッチします。

❸ Menu アイコンをタッチし、静止画再生モードのメニュー設定を表示します。

❹ サブメニューの**スライド方法** をタッチします。

❺ **1 秒**、 **3 秒**の中から希望する再生間隔を選んでタッチします。スライドショーが開始されます。

❻ スライドショーを解除するには、画面のどこかをタッチします。

※自動電源オフ（P.66）の設定をおこなっていても、再生を続けます。

スライド効果

スライドショーの効果を設定します。

「静止画のスライドショー」の手順❹で、**スライド方法** をタッチします。

アイコン	機能	はたらき
	フェィディング	フェードにより画面が変わります。
	スライド	左右から次のデータがスライドして画面が変わります。

スライド効果の設定後、サブメニューの**スライド方法** をタッチし、希望する再生間隔を選んでタッチすると、スライドショーが開始されます。

DPOF 設定

DPOF（デジタル・プリント・オーダー・フォーマット）とは、SD メモリーカードなどの記録メディアに保存してある静止画に対して、一括印刷の指定をするプリント用フォーマットです。
画像をプリントサービス店で出力する場合や、DPOF 対応プリンターで出力する場合に便利です。
本製品では、SD メモリーカード内の静止画に DPOF の設定が可能です。最初にカメラに SD メモリーカードをセットしてください。


○ DPOF 対応プリンターでも、プリンターによっては本製品と対応せず、設定が機能しない場合があります。

❶ カメラの電源をオンにし、モニタの アイコンをタッチするか、〈**再生**〉ボタンを押します。

❷ 再生モードで静止画ファイルのサムネイルを表示します。静止画モードが選択されていない場合はモニタ左の アイコンをタッチします。

❸ サムネイルの中から DPOF の設定をしたいファイルを選びタッチします。

❹ Menu アイコンをタッチし、静止画再生モードのメニュー設定を表示します。

❺ サブメニューの **DPOF** をタッチします。

❻ **1 枚 DPOF**、 **全て DPOF** の中から希望する項目を選んでタッチします。確認画面が表示されたら、「○」をタッチします。1 つのファイル、またはすべてのファイルに対して DPOF が設定されます。

❼ DPOF 設定を終了するには、〈**戻る**〉アイコン をタッチします。

DPOF 設定されたファイルには再生モード時にアイコンが表示されます。
※ファイルに対する DPOF 設定を解除するには、上記手順の ❻ の際に **1 枚 DPOF 解除**、または **全て DPOF 解除**を選んでください。

DPOF 設定ファイルアイコン


静止画の回転

静止画ファイルを右または左に 90°ずつ回転します。

❶ カメラの電源をオンにし、モニタの アイコンをタッチするか、**〈再生〉**ボタンを押します。

❷ 再生モードで静止画ファイルのサムネイルを表示します。静止画モードが選択されていない場合はモニタ左の アイコンをタッチします。

❸ サムネイルの中から回転させたいファイルを選びタッチします。

❹ Menu アイコンをタッチし、静止画再生モードのメニュー設定を表示します。

❺ サブメニューの**回転** をタッチします。

❻ **左 90 度**、 **右 90 度**の中から希望する方向を選んでタッチし、次の確認画面で「○」をタッチします。

❼ 回転設定を終了するには、**〈戻る〉**アイコン をタッチします。

※画面タッチで同様の操作ができます。詳しくは P.60「タッチパネルのスライディングと回転」の「回転」をご覧ください。

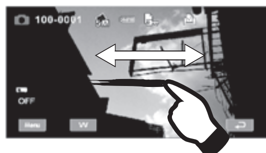
※「ファイル保護」設定をしている場合、静止画ファイルの回転はできません。

タッチパネルのスライディングと回転

スライディング

静止画再生表示中にモニタの中央部で右または左に指先を滑らせると、前または次の画像に移動します。また、拡大表示中にモニタの中央部で指をスライディングすると表示範囲を移動できます。表示領域はモニタのインジケーターに表示されます（P.56 参照）。

モ ニ タ



回転

静止画再生表示中にモニタの中央部で右回りまたは左回りに回転させながら指先を滑らせると、画像が右または左の方向に 90°回転します。

モ ニ タ



モ ニ タ



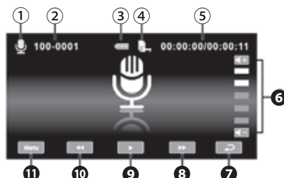
プロジェクター再生

プロジェクター機能を使って、撮影した静止画をプロジェクターに投影させて見ることができます。操作方法は動画と同じです。P.54 をご覧ください。

音声再生

音声再生モードのアイコン

音声再生モード画面ではモニタで音声ファイルの再生ができます。
○（白丸数字）は設定された状態をあらわす項目です。
●（黒丸数字）はタッチで操作できる項目です。



① モード表示	音声モード
② フォルダ名 / ファイル名	表示されているファイルのフォルダ名 / ファイル名を表示
③ 電池残量	P.17「電池の残量表示」をご覧ください
④ ファイル保護	P.63「ファイル保護」をご覧ください
⑤ ファイル再生経過時間 / 再生時間	表示されているファイルを再生した時間 / ファイルの長さを表示
❻ 音量	モニタの「＋」（音量大）か「－」（音量小）をタッチするか、再生中にズームレバーを「T」側（音量大）か「W」側（音量小）に押してして音量を調節します
❼ 戻る	サムネイル表示に戻ります
❽ 次のファイルへ移動	P.62「音声の再生」をご覧ください

❾ **再生 / 一時停止**	P.62「音声の再生」をご覧ください
❿ **前のファイルへ移動**	P.62「音声の再生」をご覧ください
⓫ **Menu**	メニュー表示

音声の再生

1. カメラの電源をオンにし、モニタの [▶] アイコンをタッチするか、〈**再生**〉ボタンを押します。
2. 再生モードで音声ファイルのサムネイルを表示します。音声モードが選択されていない場合はモニタ左の 🎙 アイコンをタッチします。
3. 再生したい音声ファイルを選んでタッチします。
4. ファイルごとの音声再生画面に入ります（図 1）。[▶] アイコンをタッチすると再生を開始します。
5. 再生中は [▶] アイコンが〈**一時停止**〉[II] アイコンに変わります。再生を途中で停止するときは [II] アイコンをタッチします。再度 [▶] アイコンをタッチすると停止していたところから再生を再開します。
6. 再生を終了し音声再生ファイルサムネイル表示に戻るには、[⮐] アイコンをタッチします。

[◀◀] / [▶▶] アイコンをタッチすると、次または前のファイルへ移動します。

図 1



再生モードのメニュー設定

再生モードで Menu アイコンをタッチするかまたは〈**メニュー**〉ボタンを押すと、ファイルの設定ができる**メニュー設定**の画面になります。
操作方法は動画モードのメニュー設定と同様です。P.32 をご覧ください。
ここでは全再生モード共通のメニュー設定について説明しています（再生方法を除く）。
静止画再生モード独自のメニュー設定については、P.57 ～ 59 をご覧ください。

ファイル保護

誤って大切なファイルを削除しないように、削除操作から保護する設定ができます。



○ 削除操作からファイルを保護することができますが、フォーマット（→ P.66）操作を行うと、保護は無効となりファイルは失われますのでご注意ください。

アイコン	機能	はたらき
	1ファイル保護	選択中のファイルにだけ保護を設定します。
	1ファイル保護解除	選択中のファイルの保護設定を解除します。
	全て保護	同じモードのファイルすべてに保護を設定します。
	全て保護解除	同じモードのファイルの保護設定をすべて解除します。

保護されたファイルにはサムネイル表示と、再生モード時にアイコンが表示されます。

※「全て保護」「全て保護解除」では別のモードのファイルの保護設定は変更しません。

保護ファイルアイコン



再生方法

ファイル再生のタイプを設定します（動画 / 音声のみ）。

アイコン	機能	はたらき
	1ファイル再生	選択中のファイルだけを再生します。
	全ファイル再生	同じモードのファイルをすべて再生します。
	1ファイル・リピート	選択中のファイルだけを繰り返し再生します。
	全ファイル・リピート	同じモードのファイルをすべて繰り返し再生します。

削除

記録したファイルを削除します。



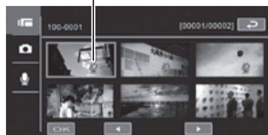
○ 一度削除してしまったファイルは、復活させることができません。削除の前にファイルを十分に確認してください。

アイコン	機能	はたらき
	1ファイル削除	選択中のファイルだけを削除します。
	全て削除	同じモードのファイルをすべて削除します。
	選択削除	選択したファイルを削除します。

「**選択削除**」を選択すると、ファイルのサムネイルが表示されます。削除したいファイルをタッチすると、ファイル上にファイル削除アイコンが表示されます。

OK アイコンをタッチして、次の確認画面で「○」をタッチすると、選択したファイルを削除します。

ファイル削除アイコン



環 境 設 定

カメラの電源をオンにして〈**Menu**〉アイコンをタッチし、メニューを表示します。
※モードは問いません。
アイコンをタッチすると設定のサブメニュー画面になります。
操作方法は動画モードのメニュー設定と同様です。P.32をご覧ください。

設定内容

TV 方式

テレビ接続（P.69）の際にあらかじめテレビの信号方式を選びます。日本で使用する場合は「NTSC」を選択します。

NTSC：日本、韓国、台湾、アメリカ、カナダなど
PAL　：中国、イギリス、ドイツ、イタリア、インドネシアなど

ファイル番号

ファイル名に自動的に付けられる番号の数値をリセットすることができます。
※リセットする前に保存されているファイルをすべて削除する必要があります。
　保存ファイルが残っているとリセットされません。



リセット：保存ファイルの番号をリセットします。



連続　　：保存ファイルの番号はリセットされません。

日付 / 時刻

日付と時刻を設定します。P.25 をご覧ください。

フォーマット

SD メモリーカードをフォーマット（初期化）します。フォーマットすると記録されているデータはすべて消去されるのでご注意ください。
※保護設定（P.63）されているファイルも消去されます。



○ 一度フォーマットして消去されたデータは復活させることができません。フォーマットをする前は記録されているデータの内容をよく確認してください。

初期設定

カメラの設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

◆『日付 / 時刻』の設定は継続されます。

液晶輝度

モニタ表示の明るさを低・中・高の 3 段階で調整できます。

日付プリント

ファイルに付ける日付と時刻の設定です。



オフ : 表示しません。



日付 : 日付を表示します。



日付 / 時刻 : 日付と時刻を表示します。

自動電源オフ

電源の消し忘れや電池の消耗を防ぐ機能です。設定した時間の間無操作状態が続くと、電源が自動的にオフになります。

オフ / 3 分 / 5 分

Language

表示言語を日本語の他様々な国の言語から設定できます。

電源周波数

室内照明下でよりよく撮影するため、照明の点灯周波数を合わせる設定です。ご使用の地域に合わせて設定します。

自動 / 60Hz：西日本地域 / 50Hz：東日本地域

モニタ表示

モニタ上のアイコン表示を設定します。ボタン表示には影響しません。



標準 : すべてのアイコンを表示します。



ヒストグラム : すべてのアイコンの表示に加え、**輝度分布図**をヒストグラムで表示します。



オフ : すべてのアイコンを非表示にします。

ビープ音

カメラのシャッター音、ボタン音などのオン / オフを設定します。
※動画ファイル / 音声ファイルの再生時の音声は設定できません。

オフ / 低 / 中 / 高

タッチパネルの校正

タッチスクリーンの精度を調節することができます。モニタに表示される指示に従って操作をしてください。

起動画面

カメラ起動時に表示されるオープニングイメージを設定します。



初期設定 : あらかじめ決められたイメージを表示します。


ユーザ設定 : 自分で撮影した静止画の中から好きな画像を選びます。

デジタルズーム

デジタルズームを設定します。

オフ : デジタルズームをオフにします。

x10 : デジタルズームを 10 倍まで使用できます。

最大倍率 : デジタルズームを最大まで使用できます。

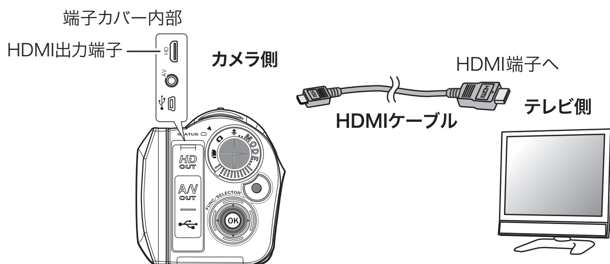
テレビ接続

付属の AV ケーブルまたは HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続すると、テレビ画面がカメラのモニタの役割となり、撮影した画像を再生することができます。
あらかじめご使用の国・地域に合わせてテレビの映像信号方式を設定する必要があります。P.65「TV 方式」を参照してください。
※設定が誤っているとテレビ画面に正常に映りません。

HDMI ケーブルで接続

付属の HDMI ケーブルで HDMI 入力端子搭載のテレビと接続すると、より高画質な映像と音声を楽しむ事ができます。

1. 電源がオフになっていることを確認してから、付属の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。
   ケーブルの小さい方の端子をカメラの HDMI 出力端子に接続します。ケーブルの大きい方の端子をテレビ側の HDMI 端子に接続します。
   テレビの端子の位置はお使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。
2. テレビの電源をオンにして、HDMI モードに設定します。
3. カメラの電源をオンにします。モニタの画面がテレビにも表示されます。
   HDMI ケーブルでテレビと接続した状態で、各種ファイルの再生ができます。



※接続後の操作はカメラ本体で再生するときと同じです。
※接続を終える時はカメラの電源をオフにしてからケーブルの接続を外してください。

AV ケーブルで接続

❶ 電源がオフになっていることを確認してから、付属の AV ケーブルでカメラとテレビを接続します。

ケーブルの映像・音声端子をカメラの映像・音声出力端子に接続します。テレビには黄色いプラグを映像入力端子に、白と赤のプラグを音声入力端子に接続します。

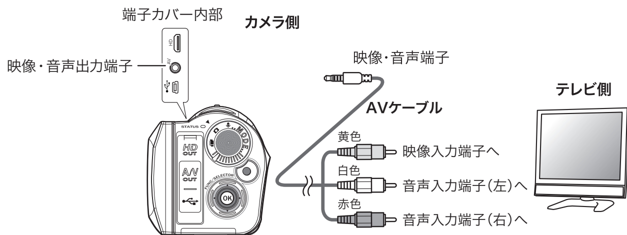
テレビの各端子の位置はお使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。

❷ テレビの電源をオンにして、外部入力モードに設定します。

❸ カメラの電源をオンにします。モニタに**出力選択**画面が表示されますので、**TV 出力**を選択します。モニタの画面がテレビにも表示されます。

※接続後の操作はカメラ本体で操作するときと同じです。AV ケーブル接続時は通常と同じく録画や再生ができます。

※接続を終える時はカメラの電源をオフにしてからケーブルの接続を外してください。



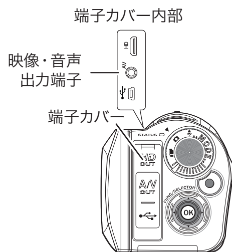
イヤホンとの接続

カメラとイヤホンを接続する

本体背面・端子カバー内部の**映像・音声出力端子**に市販品（別売）のイヤホンを接続して音声を聞くことができます。

映像・音声出力端子にイヤホンケーブルの端子を繋ぐと、モニタにケーブル種類を指定するウィンドウが現れます。
「イヤホン」をタッチしてください。

イヤホンを接続すると、音声は本体の付属スピーカーから出なくなり、接続したイヤホンからのみ出るようになります。



パソコン接続

本機をパソコンに接続すると、本機にセットされたSDメモリーカードが、パソコンにリムーバブルディスクとして認識されます。画像を取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。


リムーバブルディスクからコピーを行なっているとき（画像取り込み時）は、USBケーブル、SDメモリーカードを絶対に抜かないでください。


本機以外の他機器で記録した動画、静止画ファイルは、本機で再生できない場合があります。

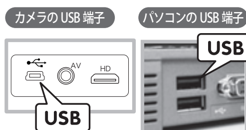

リムーバブルディスク内にあるフォルダおよびファイルの名前は、パソコンで変更しないでください。


リムーバブルディスクをパソコンでフォーマットしないでください。


リムーバブルディスク内にあるデータファイル（画像等）は、SDメモリーカードに保存されているデータファイルです。
このフォルダにあるデータを削除してしまうと、SDメモリーカードに保存されているデータファイルが消去されます。

データの取り込み手順

❶ 付属のUSBケーブルでカメラ（電源オフ）とパソコン（電源オン）を接続します。



ご注意

- ◆ USB端子が標準装備されたパソコンに限ります。
- ◆ USBハブや、拡張USBボードで接続した場合、カメラを認識しなかったり、エラーメッセージが表示されることがありますのでご注意ください。
- ◆ USB端子にUSBケーブルを接続する際には、端子の向きに注意してください。間違った方向に無理に差し込むと、端子が破損してしまいます。

❷ カメラの電源をオンにします。

 パソコンとの接続に成功するとモニタに「USB 接続」と表示されます。以降はパソコン側で操作します。

パソコンがカメラを自動認識します。認識されるまで、お待ちください。
◆ カメラのモニタは無表示です。
↓

【Windows】

本機にセットされているSDメモリーカードが、［リムーバブルディスク］※ という名前のドライブとして認識され、［マイコンピュータ］（Windows 7、Windows Vistaの場合［コンピュータ］または［コンピューター］）内に表示されます。

【Macintosh】

デスクトップにリムーバブルディスク※が表示されます。
※リムーバブルディスクの名称はお使いの環境により異なる場合があります。
○ USB ハブや拡張 USB ボードで接続した場合、カメラを認識しなかったり、エラーメッセージが表示される場合があります。ご注意ください。

4 ［リムーバブルディスク］→［DCIM］→［100MEDIA］の順にダブルクリックして開きます。

記録したすべてのファイルは、［100MEDIA］内に保存されています。
※動画ファイルの拡張子は MOV です。
※静止画ファイルの拡張子は JPG です。
※音声ファイルの拡張子は WAV です。
※お使いの PC 環境により名称が異なる場合があります。



○ この時点では、記録したデータはパソコンに取り込まれていません。この中のデータを消去してしまうと、記録しているデータが消去されてしまいます。

5 取り込みたいファイルを選択し、パソコンの任意のフォルダに保存（コピー）します。

これでデータの取り込みが完了します。

Windows 7 や Windows Vista でのデータの取り込み

Windows 7 や Windows Vista をお使いの場合、カメラとパソコンを接続した際に、SD メモリーカードの自動再生ウィンドウがポップアップして、目的選択ができます。
例えば「画像の取り込み」を選んだ場合、右図の読み込み画面が表示されます。[読み込み］ボタンを押すと、前ページ手順 4 ～ 5 の操作をせずに、取り込みができます。



ご注意

◆［オプション］の設定には、読み込み後にカメラの画像を消去する設定がありますのでご注意ください。

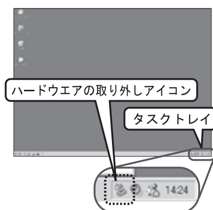
カメラをパソコンから外す

カメラをパソコンから取り外すときは、必ず以下の操作をしてください。
接続中は**電源ボタン**を押したりモニタを閉じても電源はオフになりません。

【Windows】

［タスクトレイ］の［ハードウエアの取り外し］アイコンをダブルクリックして、該当するドライブを停止します。『安全に取り外すことができます』というメッセージが出てから USB ケーブルの接続を外します。

◆ 取り外しできない旨のメッセージが表示された場合は、すべてのウィンドウを閉じて、再度手順 1 から行ってください。



【Macintosh】

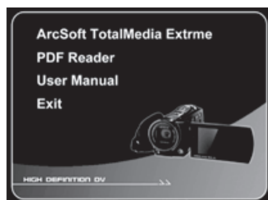
デスクトップ上の本製品のストレージのアイコンをゴミ箱に入れます。または
アイコンを選択してファイルメニューからドライブの取り出しを選択します。
アイコンがデスクトップから消えたら、USB ケーブルの接続を外します。

付属 CD-ROM

インストール手順

付属の CD-ROM には、Windows 用のドライバと画像編集用のソフトウェアが入っています（Macintosh ではご使用になれません）。インストールを始める前に、使用中の全てのアプリケーションを終了させてください。

1. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。自動的にインストール画面が表示されます。表示されない場合は、「マイコンピュータ」（Windows 7、Windows Vista の場合［コンピュータ］または［コンピューター］）を開き、CD-ROM アイコンを開きます。
2. インストール画面からインストールしたい項目（ArcSoft TotalMedia Extreme）を選択し、クリックします。インストールが開始されます。
3. 画面の指示に従ってインストールを完了させます。



ArcSoft TotalMedia Extreme

ソフトウェアについて	詳しい使用方法は、ソフトウェアのヘルプをご参照ください。 **http://www.arcsoft.jp/** アークソフト株式会社　　2011 年 4 月現在

画像や動画ファイルをパソコンを使って撮影、編集できるソフトです。

トラブルシューティング

故障かな？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

症状	処置・確認
電源が入らない	○電池が切れている可能性があります。充電してください。 ○電池の＋－極の方向が正しくセットされていない可能性があります。ご確認ください。
電源が突然切れる	○電池が切れている可能性があります。充電してください。 ○自動電源オフ機能（P.66）が働いた可能性があります。再度〈**電源**〉ボタンを押して電源をオンにしてください。
SD メモリーカードを認識しない	○ SD メモリーカードに何らかのトラブルがある可能性があります。新しいカードと交換してください。
画像がぼけた	○撮影時、手ブレを起こしてしまった可能性があります。撮影時はカメラをしっかりと固定してください。固定が難しい場合は、三脚の使用をお薦めします。 ○撮影距離が適正でない可能性があります。 通常撮影の撮影距離： ノーマル：10cm ～∞（ワイド時） 90cm ～∞（テレ時） マクロ：10 cm
画像が粗い	○デジタルズームを使用すると画像が粗くなる場合があります。

症状	処置・確認
撮影できない	○ SD メモリーカードに空き容量が無くなった可能性があります。必要な画像データをパソコンに取り込んだ後、メモリから削除してください。 ○ SD メモリーカードがロックされている可能性があります。カードのプロテクトスイッチを解除してください。 ○押すボタンを間違えている可能性があります。撮影の際は〈**録画**〉ボタン（動画・音声）/〈**シャッター**〉ボタン（静止画）を押します。
リムーバブルディスクとしてパソコンに認識されない	○ USB ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。ケーブルの接続を一度解除してから、再接続してみてください。 ○ USB ハブや拡張 USB ボードを使い接続すると、正確に動作しない場合があります。USB ケーブルを直接パソコンの USB 端子に接続してください。 ○動作対象でないパソコンを使用している可能性があります。
リムーバブルディスクが見当たらない	○リムーバブルディスクの名称はお使いのパソコン環境により、異なる場合があります。それらしいドライブを開いてみてください。
テレビに接続した画像が表示されない	○ケーブルがしっかりと接続されていない可能性があります。ケーブルの端子をしっかりと差し込んでください。 ○テレビ側の接続端子を間違えている可能性があります。端子の場合はお使いのテレビの取扱説明書でお確かめください。

撮像素子	1/3.2 型 551 万画素 CMOS イメージセンサー 有効画素数：503 万画素 / 総画素数：551 万画素
対応外部記憶媒体 ※ 1	SD メモリーカード /SDHC メモリーカード SD メモリーカード（最大 2GB まで） SDHC メモリーカード（最大 32GB まで）
保存形式	動画 : H.264、MOV 静止画 : JPEG Exif 2.2 準拠 音声 : ADPCM
動画サイズ	**TV タイプが NTSC のとき：** Full HD: 1920 × 1080 ピクセル（撮影コマ数：最大 30 コマ / 秒） HD: 1280 × 720 ピクセル（撮影コマ数：最大 30/60 コマ / 秒） WVGA: 848 × 480 ピクセル（撮影コマ数：最大 60 コマ / 秒） WQVGA: 432 × 240 ピクセル（撮影コマ数：最大 120 コマ / 秒） コーディック方式 : H.264/AVC（映像）/ ADPCM（音声） **TV タイプが PAL のとき：** Full HD: 1920 × 1080 ピクセル（撮影コマ数：最大 25 コマ / 秒） HD: 1280 × 720 ピクセル（撮影コマ数：最大 25/50 コマ / 秒） WVGA: 848 × 480 ピクセル（撮影コマ数：最大 50 コマ / 秒） WQVGA: 432 × 240 ピクセル（撮影コマ数：最大 100 コマ / 秒） コーディック方式 : H.264/AVC（映像）/ AAC（音声）
静止画サイズ※ 2	16M: 4608 × 3456 ピクセル 8M ：3200 × 2400 ピクセル 5M ：2592 × 1944 ピクセル 3M ：2048 × 1536 ピクセル
モニタ	3.0 型（インチ）タッチパネル搭載ワイド LTPS TFT カラー液晶モニタ
レンズ	光学ズームレンズ 8 層グラス ＋ 3 層プラスチック、 ワイド時：F/2.6, f=10mm - ∞、 テレ時：F/2.6, f=90mm - ∞ （35mm カメラ換算 5- 40mm）

撮影距離	ノーマル：10cm 〜∞（ワイド時） 90cm 〜∞（テレ時） マクロ ：10 cm
ズーム	光学ズーム：8 倍 デジタルズーム： 動画撮影時：120 倍 静止画撮影時：60 倍 再生時：約 8 倍（倍率は画像のサイズに依存します。）
シャッター	機械式　シャッタースピード：1/2 ~ 1/8000 秒
露出補正	-2.0 EV 〜 ＋ 2.0 EV（1/3EV ステップ）
ISO 感度	自動 /100/200/400/800/1600/3200/6400
ホワイトバランス	自動 / 太陽光 / 曇り / 蛍光灯 / 白熱灯 / カスタム
フラッシュ	オフ / 自動 / オン
測光方式	中央測光 / 平均測光 / スポット測光
暗所撮影用 LED ライト	オン / オフ 有効範囲：1.0m
撮影モード	動画 / 静止画 / 音声
連続撮影	連写 /AEB/10 枚連写 /30 枚連写
色効果	標準 / アート / セピア / ネガ / 白黒 / ビビット
セルフタイマー	オフ /2 秒後 /10 秒後
自動電源オフ	オフ / 3 分後 / 5 分後
入出力端子	SD カードスロット / USB 2.0 / 映像音声出力端子 / HDMI 出力端子
テレビ信号方式	NTSC/PAL
マイク	内蔵

プロジェクター	解像度	QVGA（320 x 240）
	輝度	6.3ANSI ルーメン
	コントラスト比	300:1
	投影画像サイズ（対角）	約 12.7cm ～ 127cm（5 ～ 50 インチ）
	投影距離	約 50cm ～ 200cm
	投影レンズ	マニュアルフォーカス
	ランプ寿命	約 50000 時間
電源		CA NP-40 リチウムイオン充電池 / AC 電源アダプター
電源寿命※ 3		動画：約 1 時間 30 分（リチウムイオン充電池使用時） 静止画：約 120 枚（CIPA 準拠）
使用環境		温度：0 ～ 40℃ （結露なきこと） 湿度：20 ～ 70%
外形寸法		約（幅）52.3mm ×（高さ）57.7mm ×（奥行）123.4mm（付属品除く）
重量		約 264g（充電池、およびその他付属品除く）

○すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

※ 1 SD/SDHC メモリーカードは、種類、メーカー、ブランド、また使用状況により対応できない場合があります。

※ 2 静止画の画像サイズ 16M（4608 × 3456 ピクセル）、8M（3200 × 2400 ピクセル）は画像補正を行っています。他のサイズに比べ、画質が粗くなる場合があります。

※ 3 製造日までの保存期間、使用状況により電池性能に差が生じ、電池寿命が記載より短くなる場合があります。本仕様はあくまでも目安としてご参考ください。

液晶画面について

以下は液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。
◎ 一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。
◎ 明るさにむらが生じる場合があります。
◎ 太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。

主な機能／特長

○フルハイビジョン撮影　○ストレージクラス対応　○音声付き動画撮影／再生
○静止画撮影（マクロ撮影／セルフタイマー撮影／連続撮影／フラッシュ撮影）／再生　○音声録音／再生　○プロジェクター再生
○オートフォーカスロック機能 / マニュアルフォーカス機能
○光学 8 倍／デジタル 120 倍（動画）・60 倍（静止画）ズーム撮影
○タッチパネル搭載ワイド LTPS TFT カラー液晶モニタ　○動体検知機能
○シーンモード　○スローモーション再生　○ DPOF 機能　○顔認識　○プレ録画
○定点撮影　○暗所撮影 LED ライト　○ HDMI 出力　○テレビ接続
○ SD メモリーカード／ SDHC メモリーカード対応　○手ブレ軽減

撮影可能時間／枚数の目安（SD メモリーカード 2GB 使用時）

◆ 撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定でないため、撮影可能時間／枚数に差があります。目安としてご参考ください。
◆ 複数の機能で撮影した場合、メモリの残量に依存します。

■動画撮影

	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
1920 × 1080 (30p)	21 分 12 秒	25 分 26 秒	31 分 48 秒
1280 × 720 (60p)	21 分 12 秒	28 分 16 秒	42 分 24 秒
1280 × 720 (30p)	31 分 48 秒	42 分 24 秒	1 時間 3 分 36 秒
848 × 480 (60p)	31 分 48 秒	42 分 24 秒	1 時間 3 分 36 秒
432 × 240 (120p)	1 時間 3 分 36 秒	1 時間 24 分 48 秒	2 時間 7 分 13 秒

■静止画撮影

	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
16M	397 枚	634 枚	1064 枚
8M	828 枚	1325 枚	2208 枚
5M	1242 枚	1987 枚	3313 枚
3M	1987 枚	3138 枚	5421 枚

パソコン接続環境

下記 OS がプリインストールされ、USB インターフェース（2.0）が標準装備されている必要があります。

	Windows	Macintosh
OS	Windows 2000/XP/Vista/7	Mac OS X 10.3/10.4/10.5/10.6
CPU	Pentium® 4 プロセッサー 2.8 GHz 以上	-
メモリ	1GB 以上	
ハードディスク	110MB 以上の空き容量	
ビデオカード	64MB 以上	-
ドライブ	CD-ROM 必須	-
ディスプレイ	16 ビット以上	
インターフェース	USB2.0	

接続環境を満たす PC の中でも、一部機種の設定や構成により正常に動作しない場合があります。 あらかじめご了承ください。

○ Windows XP、Windows Vista、Windows7 は、32bit に対応します。

○ 上記の OS を搭載したパソコン以外では動作保証致しません。

○ OS をアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。

○ USB ハブ、拡張 USB ボードを経由した接続での使用、自作機や改造したパソコンについては動作保証致しません。

アフターサービス

■保証書の記入事項
本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください（保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください）。

■修理をご依頼の前に
本取扱説明書のトラブルシューティングをよくお読みいただき、それでも解決しない場合には下記までご相談ください。

製品に関するお問い合わせ

エグゼモード サポートセンター ☎ 0570-036-036
受付時間 10:00 ～ 17:00（土、日、祝祭日および当社指定休業日を除く）

メールアドレス　**support@exemode.com**
ホームページアドレス　**http://www.exemode.com**

本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、サービスについては日本国内限定とさせていただきます。

■サポートセンターからのお願い
○通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しいただけますよう、お願い申し上げます。
○年末年始などのサポートセンター休業日には、お客様へのご対応ができない場合がございます。

MEMO

MEMO

※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
※本書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
※当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。
※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。